

事務事業 No./名 称	■サービス部門 消防-07 警防活動事業					ザイムスコード及び個別事業名			
	□支 援 部 門					223	警防活動事業		
主管課	警防救急課 関連課								
分野名	地域安全								
目標 (目標値)	火災、各種災害等の災害防ぎょ活動の充実・強化を図る。								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	人 口	176,669人	176,484人						
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状 況	決算値	40,115千円	36,329千円			指標と評価			
	(国・県)	218千円				指標	神奈川消防学校における 各種専科教育及び玉掛け・ 小型クレーン技能講習		
	(負担金等)								
	(一般財源)	39,897千円	36,329千円			評価	◎		
	人員配置数	1.0人	1.0人						
	人 件 費	9,636千円	9,564千円						
	協 働 の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	49,751千円	45,893千円			◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	市民1人当 りの経費	282円	260円			20年度	8	8	
	対象者1人 当りの経費					21年度	9	7	
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						22年度	7	
							23年度	10	
							最終年度 (年度)	10	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 特になし							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 特になし							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 特になし							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 継続して災害等の被害の軽減に努めるとともに、市民の安全を確保する。							
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	今後も消防活動上の施設、消防活動資機材の維持管理及び職員研修内容を精査し、最新の知識を全職員に共有させる。			評価結果	改善の必要性	消防活動に支障をきたさぬよう施設の維持に努め、多くの職員に研修を受講させ最新の知識を共有するとともに消防の組織全体のレベルアップを目指し、消防の責任を果たす。		
B	無				B	無			
課長名		斎藤 務			部名・部長名		消防本部 畑 光則		